

第三ちぐさの企画始動！

ちぐさのもい、第二ちぐさに続き、現在第三ちぐさのオープンに向けて動き始めています。生きづらさを抱える、若い世代や子育て世代など普段ちぐさのもいがある時間帯に来られない方などにも来ていただけるような場所になる予定です。みんなでおしゃべりしたり、畑で土にふれてもらったり…

ちぐさのもりに集まってくれているなかでも20代、30代の方の発案で始動しました。今後の動きに、応援員一同楽しみにしたいと思います。

今月の無料介護相談

毎週金曜日の13時30分から週替わりで事業所さんのケアマネージャーさんに来ていただき、日ごろのお困りごとなど相談いただけますので、お気軽にお越しください。

6日	nagomi 堺鳳ケアプランセンターさん	13日	ケアサービスはるかぜさん
20日	のぞみケアプランセンターさん	27日	やすらぎの園さん

職業体験が終わりました

11月20日、21日に鳳中学校より中学校二年生の生徒さんが二人職業体験に来てくれました。

将来は医療関係に進路を希望だそうです。ちぐさのもいでは、来場者の方々と手芸をしながらの交流や、毎月ボランティアで来ていただいている事業所さんにお話を聞いたりして過ごしました。

ミタクリでは、来院した患者さんの問診、検査から診察して帰るまでエスコートしてもらいました。健診の問診も聞いてもらいましたよ。楽しかった！ちぐさのもいにもまた遊びに来ます！と笑顔で帰っていきました。彼女たちの将来の何か参考になれば幸いです。

ちぐさのもいでの「ぬくもりカフェ」（ボランティアスタッフ 木村）



毎月第三月曜日は10時から15時まで認知症に関連した人が集まります。実際には受診の帰りにお茶を飲みに来られる人、一緒に食事がしたい人、この頃は小さな部屋はいつも満席です。

認知症の相談が必要な人は別として、当事者も家族もにぎやかな話題に加わって過ごします。

両親が認知症になり、一人で支えきれなくなったAさん。彼が体調を崩してしまった様子を見て、皆でいたり励ましたり。糖尿の検査結果が悪かった人には共感したり。なんでも言える雰囲気があります。

14時を過ぎたころから人も少なくなり、本来の「ぬくもりカフェ」になり、折り紙を折るなどして、ゆったりした時間が流れています。

認知症のBさんが言われました。「こんな感じっていいね」今まで人に合わせて何も言わず笑っている彼でしたが、ご自分の居心地はどのようなのかを感じているんだなと思いました。そして、私の心もほっこりしました。当事者の方にも家族の方にも共感できるようなボランティアスタッフは親の介護を経験した人が当たっています。町の中にこんな場所がもっとたくさんできればいいなあとつくづく思いました。